

[中吐]XELOX(CAPOX)+アバスチン(ヘパシズマブ)療法

外科: 管理番号 RSC035
 処方医:
 適応症: 大腸癌
 3週間を1コースとして投与を繰り返す

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
アバスチン	●																						●
オキサリプラチン	●																						●
カペシタビン 朝		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								
カペシタビン 夕	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●									●

身長: _____ cm 体重: _____ kg 体表面積 _____ m²

[投与スケジュール] (_____ コース)

Day1(月 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食20mL 【ポート使用時】疎通確認 10mL以上のシリンジ使用	10mL		
生食50mL ルートキープ用	1瓶		
生食100mL アバスチン 7.5mg/kg (非炎症性)【投与時間注意※】 インフュージョンリアクション注意	1瓶		
【内服】ポララミン錠2mg	3錠		
5%ブドウ糖 100mL デキサート注 2mL グラニセトロン注3mg 【30分 点滴静注】	1瓶 9.9mg 1管		

5%ブドウ糖 250mL オキサリプラチン 130mg/m ² 【2時間 点滴静注】【炎症性】 アレルギー症状注意 複数回以上 ほぼ数分以内	1袋
---	----

5%ブドウ糖 50mL 【15分 点滴静注】	1瓶
生食20mL 【ポート使用時】フラッシュ 10mL以上のシリンジ使用	10mL

※アバスチン投与時間: 初回90分 2回目:60分 3回目以降30分
 初回投与時は90分、初回の認容性が良好であれば2回目の投与は60分で行ってもよい。
 2回目の投与においても認容性が良好であれば、それ以降の投与は30分で投与することができる。

DAY2(月 日)~3(月 日)

薬剤名	投与量	
デカドロン錠	8mg	1×朝食後
Day1夕食後(月 日)~Day15朝食後(月 日)		
薬剤名	投与量	
カペシタビン(C法)		2×朝夕食後
連日服用		
ピドキサール	6錠	3×毎食後

オキサリプラチン
 [今回の投与量] [累積投与量]
 _____ mg/body _____ mg/body

連日投与 手足症候群対策
 カペシタビン 腎障害時用量調節

カペシタビン投与量

体表面積	1回用量
1.36m ² 未満	1200mg
1.36m ² 以上1.66m ² 未満	1500mg
1.66m ² 以上1.96m ² 未満	1800mg

[カペシタビン:腎障害時の目安と対処法]

Ccr	
51~80	減量不要
30~50	75%減量(減量段階1)

1. 96m ² 以上	2100mg	30未満	投与禁忌
------------------------	--------	------	------

[投与前・適正使用基準]

1. 脳転移がない		
2. TS-1投与中及び投与中止後7日以内の患者ではない		
3. 重篤な腎障害がない		
4. PSが0~1である		
5. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。		
WBC	(/μL)	3500≦
PLT	(/μL)	10万≦
TBIL	(mg/dL)	<2
GOT	(IU/L)	≦100
GPT	(IU/L)	≦100
Cr*	(mg/dL)	≦1.65
Mg		1.7~2.5
K		3.5~5.0
Na		135~146
Ca		8.7~11
P		2.5~4.7
蛋白尿		2+まで投与可

[DLF]
カペシタビン 手足症候群

[次コース開始基準]

WBC		3000≦
好中球		1500≦
Hb		10≦
PLT		75000≦
GOT*		≦83
GPT*		≦105
TBIL		<1.95
Cr		≦1.65
Mg		1.7~2.5
K		3.5~5.0
Na		135~146
Ca		8.7~11
P		2.5~4.7
蛋白尿		2+~4+:1+に回復するまで休薬

[血液毒性]
各コースの投与開始前に副作用のグレードを確認し、いずれかの事象がグレード3以上であれば休薬する。グレード1以下に軽快後投与基準にしたがい投与再開
[非血液毒性]
各コースの投与開始前に副作用のグレードを確認し、いずれかの事象がグレード2以上であれば休薬する。グレード1以下に軽快後投与基準にしたがい投与再開

* 肝転移を有する場合はGOT165、GPT210以下

[重大な副作用]

カペシタビン

- ・脱水症状
- ・手足症候群
- ・心障害
- ・肝障害、黄疸
- ・腎障害
- ・骨髄抑制
- ・口内炎
- ・間質性肺炎

オキサリプラチン

- ・末梢神経障害
- ・ショック、アナフィラキシー症状 [発疹・そう痒・気管支痙攣・呼吸困難・血圧低下等]
- ・間質性肺炎、肺繊維症 [発熱・咳・呼吸困難等]
- ・骨髄機能抑制 [検査値異常等チェック]
- ・溶血性尿毒症症候群
- ・視野欠損、視野障害、視神経炎、視力低下
- ・血栓塞栓症
- ・心室性不整脈、心筋梗塞 [脈のみだれ・息苦しさ・心電図異常・胸痛]
- ・肝静脈閉塞症

アバスチン

- ・消化管穿孔(突然起こる強い腹痛)
- ・創傷治癒遅延
- ・原発巣からの出血(下血)
- ・肺転移巣からの出血(喀血)
- ・脳転移巣からの出血(突発性の意識障害、神経障害、頭痛、嘔気・嘔吐、めまい)
- ・動脈血栓(胸痛)
- ・動脈血栓(突発性の意識障害、神経症状、嘔気・嘔吐、めまい)
- ・高血圧に伴う緊(頭痛、視力障害、意識障害、悪心・嘔吐)
- ・可逆性後白室脳症症候群
- ・ネフローゼ症候群(蛋白尿)
- ・ショック、アナフィラキシー様症状

- ・好中球減少症
- ・うっ血性心不全(呼吸困難、乏尿、体重の変化)